

高石市教育委員会定例会会議録

(平成 29 年 11 月定例会)

開会及び閉会の年月日時

開 会	平成 29 年 11 月 1 日午後 4 時 45 分
閉 会	平成 29 年 11 月 1 日午後 5 時 04 分

会議に出席した者の職及び氏名

委 員	教 育 長 : 佐 野 慶 子 委 員 : 西 中 隆 委 員 : 西 村 陽 子 委 員 : 吉 村 文 一
事務局職員	教 育 部 長 : 木 寄 茂 巳 教 育 部 理 事 兼 次 長 : 細 越 浩 嗣 教 育 部 次 長 兼 社 会 教 育 課 長 : 村 田 佳 一 教 育 総 務 課 長 : 西 川 浩 二 学 校 教 育 課 長 : 吉 田 種 司 学 校 教 育 課 長 代 理 兼 人 権 教 育 推 進 室 長 : 清 水 寛 之 教 育 研 究 セ ン タ ー 所 長 : 菅 原 庸 晴 こ だ も 家 庭 課 長 : 家 村 美 雪 子 育 て 支 援 課 長 : 小 林 弘 典 社 会 教 育 課 長 代 理 兼 青 少 年 対 策 室 長 兼 た か い し 市 民 文 化 会 館 長 : 石 田 俊 彦 中 央 公 民 館 長 : 松 井 勉 教 育 総 務 課 長 代 理 : 上 田 麻 紀 教 育 総 務 課 主 事 : 安 岡 佑 美

議題及び議事の要旨及び議決事項

・ 報告第 1 号 教育委員会の後援等に関する報告について

各課長	後援承認したものについて説明。
佐野教育長	承認する。

・ 報告第 2 号 教育委員会関係諸行事等の報告について

各課長	平成29年11月1日から平成29年12月19日までの行事について説明。
佐野教育長	承認する。

その他委員長が必要と認めた事項

西中委員	<p>2点、伺いたい。1点目はこの間、忠岡町との陸上記録会を拝見し、非常に子供たちが頑張っており、他の町と競うというか子供同士も競技を通し、体力的にプラスになると思う。あれをやった結果、非常に体力的にプラスになっている等、そういうことは何かあるのか。</p> <p>2点目は、現在人権擁護委員という仕事をやっており、中学校で人権教室を開いたりして、子供たちと様々な人権問題について考える機会があるのだが、アンケート調査を実施すると、いじめ問題が起こったときに親にも先生にも相談しないという回答が圧倒的に多く、高石の場合はいじめの認知件数について、どのように認知をするのか。</p>
------	--

	<p>子供が親にも相談しない、その理由は、心配かけたらいけないという気持ち。先生に相談しないという理由は、聞けなかったが、いずれにしても、余りいじめに遭っても相談しない。そういう現状では、いじめを認知するとの非常に難しいということになるがどうか。</p>
<p>教育部理事</p>	<p>高石、忠岡の陸上競技会の検証については、特に教育委員会としては行っていないが、いわゆる全国体力・運動能力、生活習慣調査は毎年1学期に、小学校5年と中学校2年を対象に種目、体力テストを行い、その結果が12月、1月に国から回答が返ってくるので、例年2月の定例会で結果を説明している。</p> <p>そういった中で、小学校の男女とも運動能力は少し全国に比べ劣るとい課題があるが、その中で改善傾向になってきていると昨年に説明をした。今後も、体力向上の一つに陸上競技会が入るのでは無いかと考えている。</p> <p>2点目のいじめについて、これは先ほどの行事報告にもあったが、10月27日にいじめ防止対策推進委員会を開いた。その中で、実は委員からも、相談窓口の周知というのをぜひお願いしたいと意見があった。担任がいじめの相談を受けて、それをチームで対応していくというのが基本だが、担任が抱え込むだけではなく、子供が相談しやすい窓口、例えば養護教諭も相談の一人ですとか、ほかに何人か複数の教員が相談できますよと等、相談窓口の周知をお願いしたいというのは委員からも出た。</p> <p>ただ、その中でこの先生のところへ相談に行っていたら、いじめに遭っているのではないかと、周りの子に気づかれるということについての配慮をお願いしたいと、対策委員会から宿題をいただいているので、今後考えていきたい。</p> <p>ただ、学校としては、人権に関する侵害事象に関しての窓口については、年度当初も含め学校通信等では周知はしているので、そのあたりが一つの相談体制のきっかけになるかなと考えている。</p> <p>また、認知件数に関しては、昨年の委員会中の意見で、認知度上げなさいと言われたので、本市の結果としては、27年から28年の認知件数はかなり上昇した。さらに、その認知はどんな些細なことでもいじめにつながるということであれば報告しようと、学校も大分アンテナは高く張りめぐらしており、アンケート形式や面談等からいじめに遭っていないかなという子供の声を聞くという、方策で一応相談の機会というか、いじめを少しでも早く教員が知る方法は各学校で図っているところである。それらも含め、いじめ防止対策の指針が改正され、学校の対策基本方針も見直すところがあれば見直しを行うことと、校長会で学校には指導したところである。</p> <p>今の西中先生の意見の中で、子供が相談をしないで自分で抱えている部分が多いというアンケートが出ているということもあわせて、学校に伝え、いじめの相談が教員にも届くような形をまた考えていきたい。</p>
<p>西中委員</p>	<p>質問したのは、きょうは案件が無いということで、一つ、忠岡との陸上の記録会というのは、非常にいいと思う。最近、他の市町村と合同で記録会をやるというのはなかなかケースが少ないので、そういうことを通して体力的な向上を図っていただけたらありがたいということで、プラスの方向でやっていただけたらと思う。</p> <p>それから、いじめについては、府下レベルでいろいろなところへ行くが、高石市は非常によく取り組んでいる。子供がしっかりしているから、親に迷惑かけないから相談しないということ、校長とか生徒指導の先生と話し合う中でいろいろ話はしているが、なかなか難しい。今、</p>

	いじめ件数について、できるだけ最大限いじめと認めて対応するようしてもらっているので、現在のまま今後ともよろしく願いしたい。
佐野教育長	これで閉会とする。